5R65 JSY5R65DS1-A1903

SEIKO WATCH CORPORATION
Copyright©2019 by SEIKO WATCH CORPORATION Printed in Japan

S-3

SEIKO

5R65

飽和潜水用防水ダイバーズウオッチ　取扱説明書
DIVER'S WATCH FOR SATURATION DIVING　INSTRUCTIONS

日本語 ..... JA 1
English ..... EN 1

そのほかの言語の取扱説明書は、パソコンや
スマートフォンから当社ホームページ内の
「カスタマーサービス」>「取扱説明書ダウンロード」
にアクセスいただき、ご覧ください。

Please refer to the Instruction Manuals
of other languages by accessing
"Customer Service"→ "Instruction"
on our Website from PC or Smartphone.

Deutsch / Français / Italiano / Español /
Русский язык / العربية / Português /
简体中文 / 繁體中文 / 한국어 / ไทย

https://www.seikowatches.com/

この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。
必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

⚠ 警告
ご使用の前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。誤った使い方をされ、表示内容の正しい理解を怠ると、死亡事故または重症事故につながる可能性があります。

⚠ 警告

ダイバーズウオッチは主に時間経過を表示する補助計器であり、使用者の安全を保障するものではありません。安全のためダイビング用に必要とされる機器（残圧計、水深計等）を併用することが必要です。

⚠ 警告

本製品は飽和潜水に対応しています。飽和潜水に必要不可欠な経験と技術を有し、本製品の操作と取り扱いを完全にマスターし、毎回の潜水前に本製品を点検してください。そうでなければ、本製品を使用する飽和潜水は行わないでください。

⚠ 注意
ご使用の前に必ずお読みの上、必ずお守りください。

⚠ 注意

潜水の前に次の項目を点検してください。
- 時計が正常に作動しているか
- 電池やぜんまいの残量は十分か
- 回転ベゼルの回り具合は良好か（ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか）
- りゅうず等のねじをしっかりしめてあるか
- バンドとガラスに傷、ひび等の異常がないか
- バンドの固定は確実か（ばね棒、とめ金、その他）

※これらに異常が認められる場合は、ダイビングには使用しないでください。

⚠ 注意

水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。

⚠ 注意

ダイバーズウオッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、3～4 年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。

目次

1 操作について

製品取扱上のご注意 5
潜水に際しての注意事項（必ずお読みください） ... 9
　潜水前 9
　潜水中 11
　潜水後 12
　ケース構造について 13
防水性能について 14
製品の特長 15
各部の名称と主なはたらき 16
ねじロック式りゅうずについて 17
ご使用方法（ぜんまいの巻きかた） 18
時刻・日付けの合わせかた 21
　月末の日付修正について 25
パワーリザーブ表示の見かた 26
回転ベゼルの使いかた 28

2 ご注意いただきたいこと

お手入れについて 30
性能と型式について 31
ルミブライトについて 32
耐磁性能について（磁気の影響） 33
バンドについて 35
ダイバーアジャスターの操作 37
ダイバーエクステンダーの使いかた 39
アフターサービスについて 41
こんな時には 43
製品仕様 45

製品取扱上のご注意

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定される内容を示します。

次のような場合、ご使用を中止してください

- ○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- ○バンドのピンが飛び出してきた場合

※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください

- ○揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
- ○5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
- ○高湿度なところ
- ○磁気や静電気の影響があるところ
- ○ホコリの多いところ
- ○強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- ○金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
  手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- ○商品の分解・改造はしないでください。
- ○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
  けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- ○提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
  衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

⚠ 警告

文字板や裏ぶたの深度表示をしっかりと確認し、それ以上深い場所でのご使用はお避けください

⚠ 警告

潜水中は、本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください

⚠ 警告

ダイビングでのご使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、ルールを守ってご使用ください

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定される内容を示します。

水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。

水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。

入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

潜水に際しての注意事項(必ずお読みください)

■ 潜水前

潜水の前に、次の項目を点検してください。
※「各部の名称と主なはたらき」→ P.16

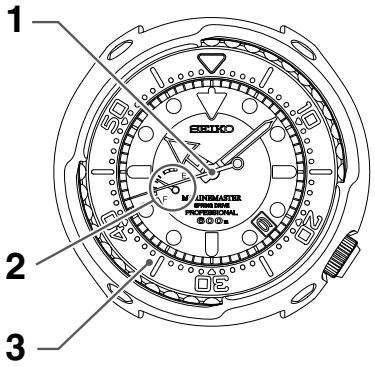
1 時刻が正確にセットされているか。

2 パワーリザーブ表示が 1/2 以上あるか。

少なかった場合、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げてください。「りゅうずでのぜんまいの巻きかた」→ P.18 をご参照ください。

3 回転ベゼルの回り具合は良好か。(ゆるすぎたり、きつすぎたりしないか。)

※「回転ベゼルの使いかた」→ P.28

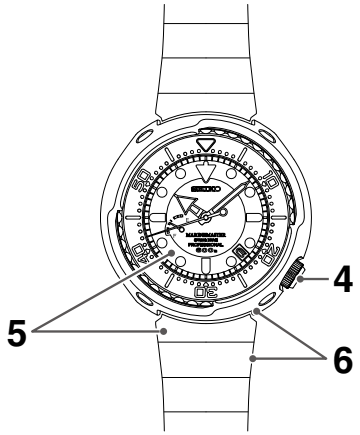


4 りゅうずのねじをしっかりしめてあるか。

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P.17

5 バンドとガラスにひび、カケ等の異常がないか。

6 バンドの固定は確実か。(ばね棒、とめ金、その他)

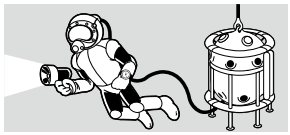


⚠注意

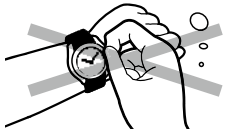
万が一、異常が認められた場合はお買い上げ店、またはお客様相談室にご相談ください。

■ 潜水中

次の項目をご確認の上、ご使用ください。



空気潜水、飽和潜水において、文字板などに表示された深度までの範囲でご使用ください。



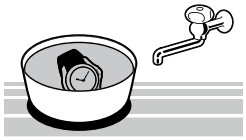
水中でのりゅうずやボタンの操作はしないでください。

岩などにぶつけないように注意してください。

回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなることがありますが、異常ではありません。

■ 潜水後

潜水後のお手入れは、次のように行ってください。



必ず真水でよく洗ってから、ふき取ってください。
直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。

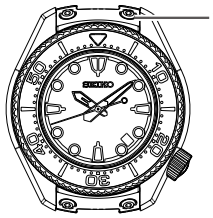
⚠注意

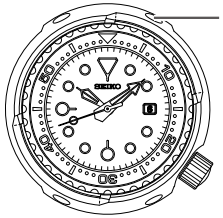
ダイバーズウオッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、3〜4 年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします

■ ケース構造について

下のようなモデルの場合は、下記の内容に注意してご使用ください。

ベゼルまたは外胴を固定するための留めねじがあります。
留めねじは絶対にゆるめないでください。





※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

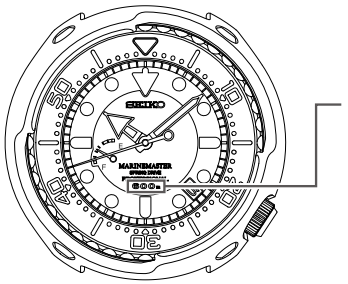
⚠注意

ベゼルまたは外胴を固定している留めねじは、絶対にゆるめないでください。
故障や紛失の原因になります。
※留めねじに異状を発見した場合は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご相談ください。

防水性能について

● 飽和潜水用防水性能

この時計は、ヘリウムガスを使用する飽和潜水向け仕様として、作られた商品になります。
文字板、あるいは裏ぶたに表記されている深度表示をしっかりと確認し、それ以上深い場所でのご使用はお避けください。



※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

製品の特長

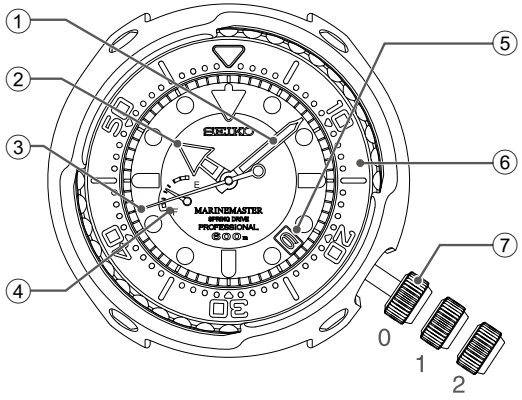
● スプリングドライブについて

スプリングドライブとはセイコー独自の機構で、ぜんまいが巻き解ける力を唯一の動力源としながらも、クオーツ時計と同等の高精度を実現した機構です。
ぜんまいを充分に巻き上げた状態から、約 72 時間(約 3 日間)動き続けます。ぜんまいの巻き上げ状態がわかるパワーリザーブ表示付きです。秒針は完全に滑らかなスイープ運針で動きます。
巻き上げ方式は自動巻ですが、手巻機構も併せて備えていますので、始動時の巻き上げに便利です。

⚠注意

スプリングドライブはぜんまいの力で動きます。パワーリザーブ表示の残量が無くなる前に充分に巻き上げてご使用ください。
特に低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が「1/6」以下になると止まる可能性がありますのでご注意ください。

各部の名称と主なはたらき



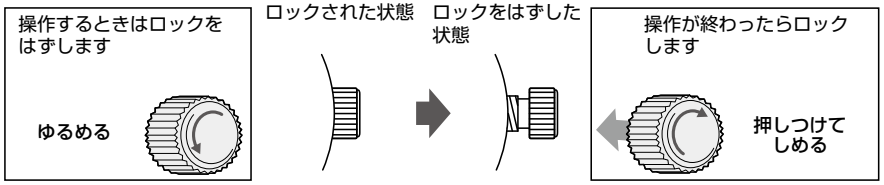
① 分針
② 時針
③ 秒針
④ パワーリザーブ表示針
⑤ 日付
⑥ 回転ベゼル
⑦ りゅうず
- 0 段目(ロックを外した状態):ぜんまい巻き上げ(手巻)
- 1 段目:日付合わせ
- 2 段目:時刻合わせ

ねじロック式りゅうずについて

誤動作の防止と防水性の向上のために、使わないときはりゅうずをねじでロックできる構造です。
- りゅうずを操作するときはロックをはずしてください
- 操作が終わったらロックをしてください

【ロックのはずしかた】
りゅうずを左回り(反時計回り)に回してください。ねじがゆるんで、りゅうずが操作できるようになります。

【ロックのしかた】
りゅうずを時計本体に軽く押しつけながら、右回り(時計回り)に止まるところまで回してください。



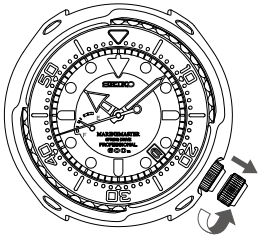
※ロックをするときは、ねじのかみあい具合に注意してゆっくりと押しながら回してください。無理に押し込むと、ねじ部(ケース)を壊す恐れがありますのでご注意ください。

ご使用方法(ぜんまいの巻きかた)

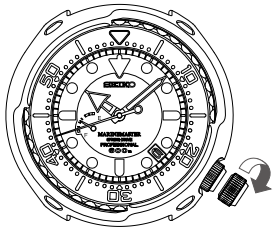
この時計は自動巻式(手巻付き)です。
- ぜんまいは、腕につけてご使用いただく際には、通常の腕の動きで自然に巻き上がります。
- 止まっている時計をお使いになる場合には、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げることをおすすめします。

● りゅうずでのぜんまいの巻きかた

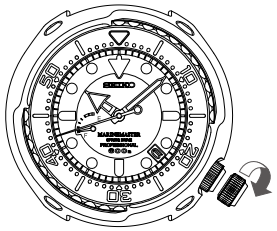
1 りゅうずは、ねじロック仕様になっております。りゅうずを左回り(反時計回り)に回してねじロックを解除してください。(ねじロックが完全に解除されると、りゅうずは締めこんだときの位置よりも少し外側に出ます。)



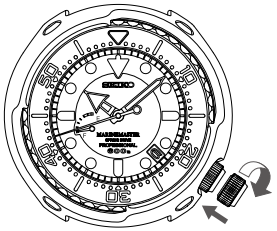
2 ねじロックが解除されましたら、りゅうずを押し付けないように注意しながら右回り(時計回り)にゆっくり回して、ぜんまいを巻いてください。
※りゅうずを 5 回転させると約 10 時間分のパワーリザーブが得られます。巻き上げ操作時のめやすにしてください。
※なお、りゅうずを左回り(反時計回り)に回してもぜんまいは巻き上がらず、空回りする構造になっています。



3 パワーリザーブ表示針がフル巻き上げ表示になるまで、ぜんまいを巻いてください。秒針が動きはじめます。
※ぜんまいの巻き上がり量については「パワーリザーブ表示の見かた」→ (P.26)をご参照ください。
※フル巻き上げの状態からさらにりゅうずを回しても、りゅうずは止まらずに回転させることができます。りゅうずを回し続けても時計が壊れることはありませんが、ぜんまいはそれ以上巻き上がりませんので過剰な操作はお控えください。



4 りゅうずを押し付けながら右回り(時計回り)に回し、止まるところまでねじ込んでください。
※りゅうずをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはぜんまいが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。



時刻·日付けの合わせかた

この時計には、日付表示機能がついています。24 時間に 1 回日付を一日分送るようになっています。日付は、「午前 0 時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12」時ごろに日付が変わってしまいます。

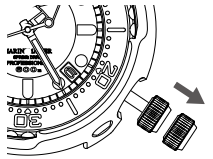
⚠注意

時刻表示が午後 9 時から午前 1 時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

1 りゅうずのロックをはずす

※「ねじロック式りゅうずについて」
→ P.17

2 りゅうずを 1 段目まで引き出す



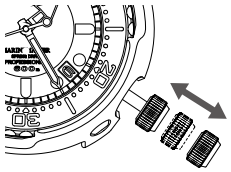
りゅうずを 1 段引く

3 りゅうずを回転させ、日付の修正をする

前の日の日付に合わせます。
(例)合わせる日付が「6 日」の場合、「5 日」に合わせます。りゅうずを左回り(反時計回り)に回すことで日付合わせが行えます。

4 りゅうずを 2 段目まで引き出す

秒針が「12 時」の位置にきたときにりゅうずを引き出します。(秒針が止まります。)
日付が今日の日付になるまで回してください。日付が変わると「午前」です。
さらに進めて現在時刻に合わせます。合わせたい時刻の 10 分ほど手前から、ゆっくり進めて合わせてください。



5 時報と同時にりゅうずを 0 段目まで押し込む

秒針が動き始めます。
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL. 117 が便利です。

6 りゅうずをロックする

※「ねじロック式りゅうずについて」→ P.17

● より正確に時刻合わせをするために！

スプリングドライブ機構の構造上、より正確な時刻合わせをしていただくには、下記の点にご注意ください。

1 時刻合わせをする場合は、ぜんまいを充分巻き上げてください(パワーリザーブ表示がフル巻上げ)。

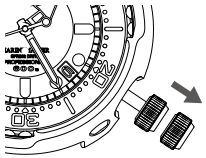
2 止まっている時計を動かした場合は、ぜんまいを充分巻いて 30 秒程度秒針が動いてから、りゅうずを 2 段目に引き出してください。

3 りゅうずを 2 段目まで引き出して秒針を止めている時間は、「30 分以内」にしてください。これ以上の時間引き出していた場合は一旦りゅうずを押し込み、30 秒程度は秒針が動いてから、時刻合わせをし直してください。

■ 月末の日付修正について

2月(1カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(1カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合
「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。
りゅうずを左回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



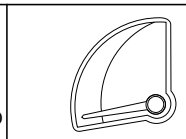
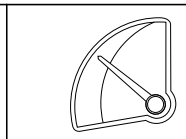
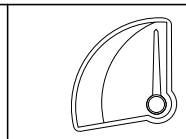
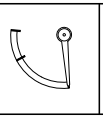
りゅうずを1段引く

⚠注意

- ねじロック式りゅうずを必ず元通りに締めてください。
- 時刻表示が午後9時から午前1時までの間、日付修正は避けてください。故障の原因になります。

パワーリザーブ表示の見かた

- パワーリザーブ表示で、ぜんまいの巻き上げ具合が確認できます。
- 時計を腕から外して置いておく際には、次にご使用(携帯)されるまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示でご確認の上、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。(時計を止めないためには、必ず余裕を持った時間ぶんを巻き上げるようにしてください。)

パワーリザーブの表示			
			
ぜんまいの状態	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
持続時間	約72時間(約3日間)動きます。	約36時間(約1日半)動きます。	時計は止まっているか、止まる直前の状態です。

※フル巻き上げ状態でりゅうずをそれ以上回しても、あるいは自動巻機構による巻き上げが行なわれても、ぜんまいが損傷を受けることはありませんのでご安心してお使いください。この時計のぜんまいは自動巻機構特有の構造(スリッピングアタッチメント)の働きで、ぜんまいが巻き止まらないようになっております。
※モデルによって、「パワーリザーブの指示」位置が若干異なる場合があります。

● 自動巻機構によるぜんまい巻き上げのめやすについて

- ぜんまいをフル巻き上げにするには、1日当たり12時間の携帯で連続して3~5日間ご使用ください。
- 実際にはお客様のご使用状況(時計を携帯使用される時間や運動量等)によって異なりますので、パワーリザーブ表示でぜんまいの巻き上げ具合をご確認ください。

※1日のご使用時間が短い場合などは、パワーリザーブ表示をご確認の上、必要に応じてぜんまいを巻き上げてください。

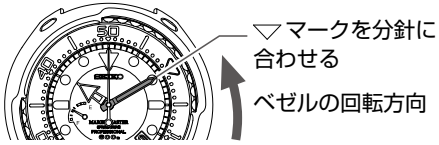
回転ベゼルの使いかた

回転ベゼルを使って、経過時間を測定することができます。

1 時間の測定を開始するタイミングで(例えば潜水開始時に)、▽マークを分針に合わせる

※回転ベゼルは、反時計方向にしか回転しません。
無理に時計方向へ回さないでください。
「【逆回転防止ベゼルについて】」
→P.29

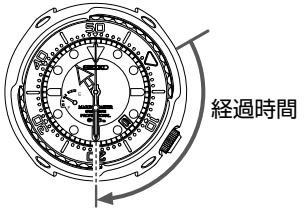
(例)10時10分に潜水を開始した場合



2 分針が指す回転ベゼル上の目盛を読む

分針が指す回転ベゼル上の目盛が経過時間です。

(例)20分経過後



※モデル(デザイン)はお買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

【逆回転防止ベゼルについて】

ダイバーズウオッチでは、潜水時間がエア残量に影響するため、ベゼル上での経過時間が実際の潜水時間よりも短くならないように、反時計方向にしか回転しない構造になっています。

⚠注意

潜水時にはエア残量の確認をしっかりと行い、回転ベゼルによる経過時間は一つのめやすとお考えください

お手入れについて

● 日ごろからこまめにお手入れしてください

- りゅうずを引き出して洗わないでください。
- 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。
  その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
  ※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。
  「防水性能について」→ P.14
  「性能と型式について」→ P.31

● りゅうずは時々回してください

- りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。
  「ねじロック式りゅうずについて」→ P.17

性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。

- 防水性能
- 型式番号
  お客様の時計の種類を示す番号です。
- 耐磁性能
  P.33 ～ P.34 を参照ください。

※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約 10 分間：500 ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約 3 時間～5 時間）発光します。光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

＜照度のめやすについて＞

環境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000～3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明（白色蛍光灯 40W の下で）	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

ダイバーズウオッチは、JIS1 種相当以上の耐磁性能があります。

⚠ 危険	
裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm 以上遠ざける必要があります。(JIS1 種)
	磁気製品より 1 cm 以上遠ざける必要があります。(JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されている調速機構は磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

● 金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。
  (時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
  残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、けがをするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

● ポリウレタンバンド

- 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
  (時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

● シリコンバンド

- 材料の特性上、バンドに汚れがつきやすく、しみこんだりして、変色を生じることがあります。
  汚れた場合は、ぬれた布やウェットクリーニングティッシュ等ですぐにふきとってください。
- 他の材料に比べ、亀裂が生じた場合そこから切れてしまう恐れがあります。先の鋭い刃物などで傷つけない様、ご注意ください。

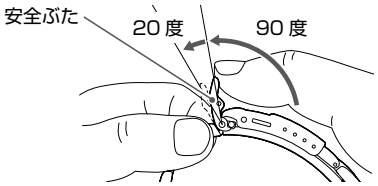
かぶれやアレルギーについて	バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドサイズのめやすについて	バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。 時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

ダイバーアジャスターの操作

金属バンドで、ダイバーアジャスター機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。
ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

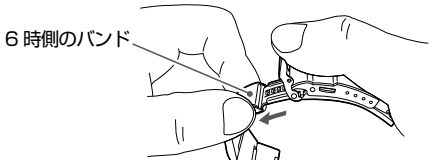
1 安全ぶたを 90 度起こし、さらに 20 度倒し、そのまま軽く押さえる

- 多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れすぎないようにご注意ください。

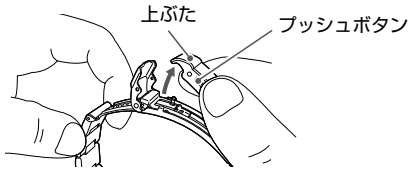


2 6 時側のバンドをバンドのカーブに沿う方向に(曲線を描くように)引く

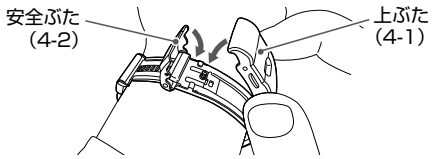
- この操作も軽い力でできますので、力を入れ過ぎないようにしてください。
- スライダーは約 30mm 伸びます。無理に引き出さないようにご注意ください。



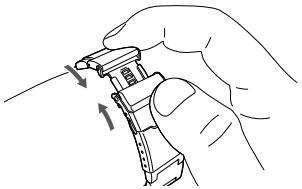
3 プッシュボタンを押しながら上ぶたを持ち上げて、中留を開き、手首につける



4 上ぶた(4-1)、安全ぶた(4-2)の順にふたを閉じる



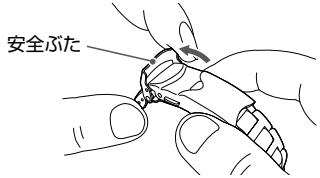
5 時計をつけていない方の手で、バンドを適当なところまで縮める



ダイバーエクステンダーの使いかた

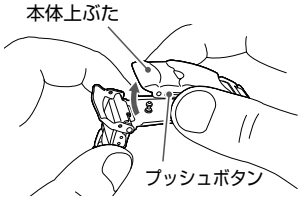
金属バンドで、ダイバーエクステンダー機構がついている場合、バンドの長さを簡単に調節できます。
ウエットスーツや防寒着などの上に時計を着用する際などにお役立てください。

1 安全ぶたを開く



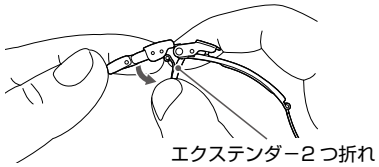
2 ボタンを押しながら本体上ぶたを開く

- 安全ぶたは危険防止のため、元の位置に戻します。

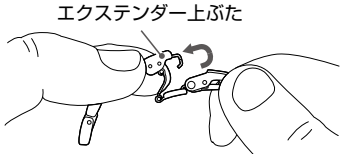


3 エクステンダー 2 つ折れを矢印の方向に開く

- このとき抵抗があり、カチッと音がします。

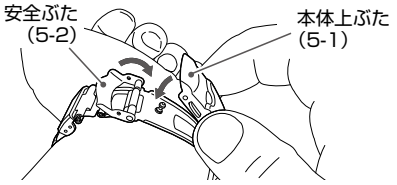


4 エクステンダー上ぶたを矢印の方向にスライドさせながら上へ引いて開く



5 腕に着け、本体上ぶた(5-1)、安全ぶた(5-2)の順にふたを閉じる

※短くするときは逆の手順でたたんでください。エクステンダーの 2 つ折れ部分をたたむとき、カチッと音がします。



アフターサービスについて

● 保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
  保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

● 補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

● 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、3 年～4 年に 1 度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。
- この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にお買い上げ後 3 年～4 年目の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
  点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

⚠注意

ダイバーズウオッチの使用環境は、ケースやバンド以外に内部の機械にもその影響を与えることがありますので、3～4 年に一度をめやすに、定期的な点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします

こんな時には

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	ぜんまいが巻かれていない。	「ご使用方法(ぜんまいの巻きかた)」→ (P.18)に従ってぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
毎日使用しているが、パワーリザーブ表示が上がらない。	携帯時間が少ないか、あるいは腕の動きが少ない。	携帯使用する時間を長くしていただくか、時計を外す際のパワーリザーブ表示の残量が次にご使用されるまでの時間分に足りない場合は、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げてください。
パワーリザーブ表示の残量があるのに時計が止まった。	低温下(0℃以下)に放置した。	低温下(0℃以下)では、パワーリザーブ表示が「1/6」以下のときは時計が止まる場合があります。りゅうずを回してぜんまいを巻いてください。

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。この時計は気温 5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
	磁気を発生するもののそばに置いた。	精度は、磁気の発生するものから離せば元にもどります。元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	時刻を合わせ直しても精度が元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
止まっている時計を動かした直後、時刻合わせをしたら、秒針の運針が早く見えた。	動き出す際、調速機構が働くまではやや時間がかかります。(故障ではありません)	調速機構が働くまでに数秒間かかります。より正確に時刻を合わせるには、30 秒程度秒針が動いてから時刻合わせをしてください。
日付が日中に変わる。	時刻合わせが 12 時間ずれている。	12 時間分、針を進めてください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

製品仕様

機種	5R65
1.基本機能	3 針(時・分・秒)、日付表示、パワーリザーブ表示
2.水晶振動数	32,768 Hz
3.精度	平均月差±15 秒以内(ただし、気温 5℃～35℃において腕につけた場合) (日差±1 秒相当)
4.作動温度範囲	−10℃～+ 60℃ ただし、低温下(0℃以下)ではパワーリザーブ表示が 1/6 以上で使用のこと
5.駆動方式	ぜんまい巻〈自動巻(手巻付き)〉
6.運針方式	スイープ運針
7.持続時間	約 72 時間(約 3 日間) ※パワーリザーブ表示がフル巻き上げの状態の場合
8.電子回路	発振・分周・スプリングドライブ制御回路(C-MOS-IC):1 個
9.使用石数	30 石

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

通話料無料 0120-612-911

お客様相談室
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル
〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

セイコーウオッチ株式会社

https://www.seikowatches.com/